関西 わーかーずねっと

関西ワーカーズ・コレクティブ連合会ニュース

vol.42 2025年1月13日

発行 / 関西ワーカーズ･コレクティブ連合会

・FAX/ 072-341-0022
・メール /kansaiwco@gmail.com
・ホームページ / 右の QR コード→

編集・制作 / W.Co パックプランニング

働き方講座　ワーカーズ・コレクティブで働くということ

地域に私のはたらくをつくるを開催しました

◇2024 年 11 月 30 日（土）13:00 ～ 16:00
◇堺市立美原文化会館
◇参加：会場 13 名　オンライン 5 名

自分にあった働き方や仲間をみつけたい思っている人などに「ワーカーズ･コレクティブ」の働き方を知ってもらうもらうことを目的にした本講座も今年で3年目。開催場所と内容を変更し、参加者が具体的な行動に移す機会になることをめざしました。

講座：ワーカーズ・コレクティブとは?

より具体的でわかりやすい内容に作り変えた資料を使ってW.Coを説明。事例紹介など、W.Coスタッフの研修にもなる内容でした。動画を使って各所属W.Coの紹介もしました。

ワークショップ：仮想事業を起業してみよう

まず参加者に、①あなたがやってみたいこと、②地域に「欲しいな」「あるといいな」と思うサービスを発表してもらいました。その内容に沿って会場A･Bとオンラインの3グループに分け、各グループで仮想事業を設定。その事業の目的や自分が担える役割についてグループディスカッションをしました。

始めたい

【会場A】地域密着カフェ「ハロハロ」
【オンライン】よろず相談カフェ

自分らしく働け、地域に貢献できる居場所となるカフェを模索。子どもが料理をできる、高齢者への配食、イベントでの販売、リサイクルスペース、いろいろな相談ができるなどの多くの意見が出ました。

続けたい

【会場B】W.Coで働き続けるには
高齢者の居場所づくり

現役ワーカーが高齢でも働き続けるために、よりどころとなる居場所とは? 外出することが大切で、体力作りの体操や、麻雀･スマホ教室、手足や頭脳を使って活動したいなど。

フリートーク：参加者にお話を聞きました

- 働き続けたいという方が多く、活発でびっくり。
- 半年前までW.Coを知らなかった。京都エル･コープで子育て支援のW.Coの立ち上げを準備中。
- 生活クラブ組合員歴20年。今春大阪に引っ越してきてエスコープに加入。生協をきっかけに地域のことを知りたい。生協･地域･仕事の中で自分が何ができるか。W.Coを知りたい。
- 4月まで他の仕事に就いていた。私なんかがいいのかと思いながら京都エル･コープでW.Coの立ち上げに関わっていたが、この場に参加していることがうれしい。居場所になっている。
- NPOや個人での起業との違いを知れた。やってもやっても仕事が山積みの毎日が定年まで続くのかと思っていたが、知人が病気になったりして、やりたいことをやろうと感じた。そんな私の思いを知っている友人（エスコープ組合員）の紹介で参加。
- W.Coは、自分がやりたいことを主体的にできることが素敵だと思った。働いて社会の役に立ちたいと強く思いました。
- 皆さんがいろんなアイデアを持っていて刺激になった。W.Coの仕事を続けようという気持ちになる。
- 皆さんが居場所を求めていることがよくわかった。「まめ福」として東京進出を考えているが、その前に地域に「まめ福カフェ」を作ることも考えたい。

つなげたい

居場所やカフェに関心のある参加者が多く、「はんどカフェ」や「よりあい金剛」などに一緒に行くなど、さらなる1歩を踏み出す機会作りを検討しています。

ワーカーズ･コレクティブとは、地域に暮らす人たちが、生活者の視点から地域に必要な「もの」や「サービス」を事業化し、自分たちで出資し、経営し、労働をも担う働き方をいいます。